

2014年12月15日発行の各社新聞の比較（日本衆院選の取り上げられ方について）

【1】

新聞	支持する政党	キャッチコピー	一面	衆院選の記事X面	衆院選記事大見出し（1）	衆院選記事小見出し（1）
自由時報	民進黨	台灣優先 自由第一	衆院選	1・8	1) 日大選 安倍聯盟壓倒勝（日本衆院選 安倍連盟が圧倒的勝利）	1) ・囊括衆院逾三分之二席次（衆院議席3分の2を丸め込む）、・投票率不到53%創下新低（投票率53%に達せず最低記録を更新）、・安倍經濟學仍獲選民信任（アベノミクスはやはり有権者の信頼を得ている）、・在野民主黨魁確定落選（野党民主党代表落選確定）
中國時報	國民黨		衆院選	1・3	1) 日衆院大選 自民黨大勝 “安倍經濟學續推”（日本衆院選 自民黨大勝利 “アベノミクス続投”）	1) ・修訂安保法制 如虎添翼（安保法案修正 鬼に金棒）、執政聯盟打下穩定基石（連立政権で穩便に駒を進める）、外交走向受國際關注（外交政策の向かうところが世界から注目を受ける）
聯合報	國民黨		衆院選	1・3・19	1) 日衆院改選 安倍大勝－自民黨拿下「絕對安定多數」與公明黨聯手跨過2/3「修憲門檻」－（日本衆院選 安倍大勝利－自民黨が「絕對安定多數」を奪い、公明黨との連携により「憲法修正の敷居」を越えるー）	
旺報	中共	中國大陸を知って、世界の未來を掌握しよう	中国前副總理が訪台 トップ会談	—	—	—
經濟日報			台灣株が大打撃を受けた瞬間について／衆院選（A6へ）	6	6-1) 大勝 安倍贏得衆院2/3席次（大勝利 安倍は衆院選で2/3議席勝ち取った）／6-2) 第三支箭 選後拉弓 “結構改革 不成功便成災”（三本の矢 選挙後弓を引く “構造改革 成功せず災いとなる”）	6-1) 日圓走勢 可望回穩（円下落の趨勢 穏やかになることを望む）、選擇有限 投票率低（選擇は有限 投票率は低い）

【2】					
新聞	見出し(2)	小見出し(2)	見出し(3)	小見出し(3)	
自由時報	8-1) 経済復興+抗中威脅 安倍致勝王牌(経済復興+対中脅威 安倍が勝利に至った王手 / 8-2) 日野党は対策を打てず、2020前可能選會再解散(2020年前におそらく衆議院解散がもう一度あるだろう) / 小澤一郎 第十六次勝選(小沢一郎 16回目の当選)、醜聞丟官兩大臣 又當選(二人のスキャンダル元大臣 またもや當選)	8-1) 安倍經濟學 在野無能提對策(アベノミクス 野党は対策を打てず)、2020前可能選會再解散(2020年前におそらく衆議院解散がもう一度あるだろう) / 小澤一郎 第十六次勝選(小沢一郎 16回目の当選)、醜聞丟官兩大臣 又當選(二人のスキャンダル元大臣 またもや當選)			
中國時報	3-1) 打造「後安倍經濟學」時代 “首相接班人 小泉翻轉自民黨”(「後アベノミクス」時代を打ち出す “首相の後継者 小泉が自民党に翻る”) / 3-2) 自民黨雖贏“51.8%反安倍經濟學”(自民党が勝ったといえども“51.8%はアベノミクスに反対”) / 3-3) 斬首奏效 民主黨黨魁落選(長である効を奏せなかった 民主黨代表だ苦戦) / 3-4) 本次選舉 女候選人僅占15% “女性活躍? 學者批安倍言行不一”(本選挙での女性候補者はわずか15% “女性の活躍? 学者が安倍の言うことと行うことが裏腹であることを指摘”)	3-1) 助選像打黨魁選戰(候補者支援者があたかも代表を打ち負かす形となる)、促自民黨要謙虛(自民党に謙虚さを促す)、放眼於2021年圓夢(2021年夢判断に目を向ける)			
聯合報	3-1) 安倍勝利被誇大? 選後難題開始(安倍の勝利は大げさ? 選挙後に難題をかかえる) / 3-2) 日本選民含淚投給自民黨?(日本の有権者は泣く泣く自民党に投票した?) / 3-3) 南極都能投票: 催不出年輕首投族(難局でも投票出来る: 促しても投票しない若者たち)	3-1) 日內閣制如何運作?(日本の内閣制はどのようにはたらいっている?)、醜聞下台兩人連任(スキャンダルで大臣を辞めた二人が続投) / 3-2) 面對抨擊 強力捍衛安倍經濟學(非難に立ち向かう アベノミクスを強く守れ)、選民心情: 選個「較不爛的蘋果」(有権者の気持ち: 「比較的悪くないりんご」を選んだ) / 3-3) 民主黨席次微成長 不成氣候(民主黨議席が少し成長 波風も立たせられない)	19) 日本選舉→東京觀察“超低投票率 安倍政治學上路”(日本の選挙から東京を觀察する“かなり低い投票率 安倍の政治学が始まる”)		
旺報	—	—	—	—	
經濟日報					

【3】

新聞	論点	気付いた点 (感想)	備考
自由時報	○圧倒的勝利 ○アベノミクスが支持を得た ○投票率の低さ ○民主党党首の落選 ○日本の野党の無能さ ○安倍内閣が日本政治史上長寿の内閣になる可能性	日本国民が政治的安定を望んでいるためにアベノミクスが支持され、自民党の圧勝につながったという見解を示している。	
中國時報	○アベノミクスに勢いが増す可能性 ○独裁政治 ○「進次郎の乱 (週刊文春より)」 ○国民のアベノミクス不支持 ○来年は戦後70周年	安倍内閣を阻止する野党が議席を確保出来なかったために「独裁政治」が誕生した、と述べている (A1内 “誕生獨裁政治, 就没人可阻止安倍政府暴走了”)。また、自衛隊の軍化、法整備などの更なる右傾化を示唆。安倍内閣の男尊女卑、有言不実行さを批判。そして、そういった政治の動きとは逆に、日本国民はアベノミクスを支持していないと強調。	
聯合報	○憲法改正 ○来年は戦後70周年 ○特定秘密保護法 ○集団的自衛権 ○投票率の低さ	アベノミクスへの評価は低いことを強調し、自民党が勝利したことは“仕方がなかった”という視点から述べている。それは、国民の投票率が物語っていると。アベノミクスは口だけで全然実行されていないと指摘されている。	
旺報			D1, 兩岸史話: “日本皇室與南京大屠殺” (日本の皇室と南京大虐殺) という特集が組まれていた。
經濟日報	○アベノミクス ○円安	終始、アベノミクスの有用性と、円の下落をどうするのか、といったところに焦点を向けていた。	